Kamagaya International Friendship Association

K·I·F·A Plaza

第31号
1997年11月７日発行
〈発　行〉
鎌ケ谷市国際交流協会
編集・広報部会

鎌ケ谷市国際交流協会設立10周年記念号

Kamagaya International Friendship Association 10th Anniversary Special Edition

お祝いのことば……Ｐ２、３
ＫＩＦＡとは……Ｐ４
広報部会……Ｐ５、６、７
派遣部会……Ｐ８、９、10
研修部会……Ｐ11、12、13
交流部会……Ｐ14、15、16
10年間の国際交流を振り返り、そして未来へ
Ｐ17、18、19

われら地球家族in鎌ケ谷

We are a global family in Kamagaya

ＫＩＦＡパーティー（1993）

夏まつり（1997）

文化交流（1995）

ＫＩＦＡパーティー（1994）

鎌ケ谷市国際交流協会の設立10周年をお祝いして

鎌ケ谷市長　皆　川　圭一郎

鎌ケ谷市国際交流協会が設立10周年を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。

また10年目と言う記念すべき年に、長年の懸案でありましたニュージーランド・ワカタネとの姉妹都市提携が決まり、11月16日にはワカタネ市長ご夫妻やワカタネ市民の代表の方々、マオリの高校生などが参列する中、調印式が執り行われる運びとなりました。

この晴れの日を迎えることができましたのも、ひとえに、今日まで市民手作りの草の根交流を続けてこられた会長・副会長を始めとする役員、並びに広報・派遣・交流・研修の各部会のスタッフの手によるきめ細かで息の長い活動を続けてこられたご努力が実を結んだ結果であります。今日を迎える布石となられた、各方面に亘る関係各位の方々の情熱と並々ならぬご尽力に対し、改めて敬意を表するとともに心より感謝申し上げる次第です。

姉妹都市提携を機に、両国民の心と心の交流を更に深めていくためにも普段着でのお付き合いを大切にしながら、この「友情の架け橋」をより多くの青少年や市民の皆様に大いに往来していただき、さらに新たな交流の１ページを刻んでいただくことを心より願っています。

The Mayor of Kamagaya City, Keiichiro Minagawa

It is with heartfelt pleasure to celebrate the tenth anniversary of the Kamagaya International Friendship Association today. And equally exciting, after years of friendly exchanges with our friends from Whakatane, New Zealand, Kamagaya and Whakatane District will affirm their friendship by signing a Sister City Agreement. We are happy that on this occasion of our Sister City Signing and the KIFA anniversary celebration, so many people from both here and abroad could attend. We are especially honored to welcome the Mayor of Whakatane and his wife, all other citizens from Whakatane and students from Whakatane District. Student, group, as well as individual citizen exchange has been taking place at the grassroot level between Whakatane District and Kamagaya for several years. Additionally, teacher and city officer exchanges between our respective communities have met with outstanding success. These success are the result of efforts made by the chairman, the vice chairman and the staff of KIFA and the city hall. The effort everyone has put forth to promote various kinds of exchange, including personnel dispatchment overseas, training, and so on, has absolutley borne fruit. The fruit of this labor, today's Sister City Affirmation Signing, will further promote future international person-to-person exchange and friendship. On this bridge of friendship we are crossing today, we sincerely hope citizens and youths everywhere will be encouraged and inspired to make new strides toward mutual understanding, and international friendship.

鎌ケ谷市国際交流協会の設立10周年をお祝いして

前鎌ケ谷市国際交流協会会長　佐々木　武二郎

1988年の４月、鎌ケ谷市に於いて、千葉県５番目の国際交流協会として発足をみて以来、早いもので10周年を迎えることになりました。我が国の国際化は、物の交流から、人の交流へ、更に地域の特性を生かした市民レベルの草の根交流へと進みながら、着々と国際化の時代を迎えた。教育、文化、スポーツ、経済等、幅広い分野に亘る交流が地域のふれあいを深め、ひいては地域の活性化、市民文化の向上に資する事になっていくことと思います。人と人とのふれあいの国際交流は、国際理解、国際親善を深め、それぞれが平和と繁栄に寄与することが目的とされた。

このような観点から発足以来、役員を中心に市民と行政が一体となって目的遂行のため努力を重ね、ここに10周年を迎える事の出来た事は感慨深いものがあります。

又発足以来、協会の最大の懸案でありました姉妹都市の提携についても、1991年の姉妹都市調査プロジェクトチーム発足以来、幾多の過程を経て本年11月にニュージーランド国、ワカタネとの姉妹都市提携の実現をみる事が出来ました事は協会発足10周年を迎えた事と合わせ、重ねて意義深いものがあります。

鎌ケ谷市国際交流協会の基本方針にうたってある様に、国際化は21世紀の社会を語る、キーワードであり、国や地方自治体が、政治、経済、文化等のあらゆる分野で国際化を推進する事は、云うまでもなく、官民が共同して国際交流を推進してゆく事が強く望まれています。

10周年を一つのステップとして、新たな国際交流の前進と展開を切に願い、多くの市民の参加と協力により鎌ケ谷市国際交流協会が、初期の目的達成のため、大きく花開くことを期待すると共に、益々協会の発展を心より願っております。

設立10周年を迎えて

鎌ケ谷市国際交流協会会長 荒 井 茂 行

1988年の春、鎌ケ谷市国際交流協会が前、佐々木会長の下、〝市民主体の国際交流の推進〟を目指し発足いたしまして、着実な歩みをしつつ早10周年を迎えることになりました。これもひとえに関係者各位をはじめ、会員の皆様の深いご理解と温かいご協力の賜物であると心より厚く御礼申し上げます。

また、これまでニュージーランドのワカタネと様々な草の根交流を重ねて参りましたことが実を結び、丁度この機に鎌ケ谷市とワカタネが姉妹都市提携調印の運びとなりましたことは、二重の喜びであり、感慨深いものとなりました。

設立以来、外国人との交流パーティー、文化交流会、語学講座、日本語教室、海外派遣、会報の発行等々の各事業は、ボランティアの方々が中心となって、熱心に取り組み、年々活発化してきました。10年前は、〝国際化〟という言葉も、まだ目新しかったように思います。昨今は、多くの方々が仕事上の海外赴任、旅行や、語学留学等、気軽に外国へ出かける時代になり、また市内でも、スーパーや公共施設で、自然にとけ込んで生活している外国人の姿も多く見かけるようになりました。

そんな中で、ＫＩＦＡの果たすべき役割として、来るべき21世紀に向けて、地球的規模の視点を持ち、新たな要望に積極的に応えるべく〝地球に根ざした魅力ある国際交流〟の実現に一層努力をしてゆかなければなりません。またこのことが、延いては世界平和に貢献するものと考えます。

今後も、皆様の力強いご支援をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

The Chairman of the Kamagaya International Friendship Association, Shigeyuki Arai

It's been ten years since the Kamagaya International Friendship Association was started back in spring of 1988 with then chairman, Takejiro Sasaki, declaring the theme: "promoting citizen exchange." Thanks to heartfelt cooperation and understanding of many people, we can celebrate our tenth anniversary of KIFA with the knowledge that we've made steady progress toward that aim Moreover, the fruits of our labor have been realized with a double pleasure of seeing our grass roots exchanges with Whakatane District mature to the point where we will celebrate KIFA's 10th anniversary and sign a sister city agreement with Whakatane District, New Zealand. Since KIFA's beginning, it's had exchanges with foreign countries; it has held foreign language classes for Japanese and Japanese language classes for foreigners living in Kamagaya; it publishes a news bulletin and has an international party once a year. All of these things are done by eager volunteers working year in and year out. Ten years ago, the idea of "internationalization" was new. Lately, however, it is common to see Japanese being sent to work overseas, to see Japanese students study abroad, and see ordinary citizens visit foreign countries on vacation. And in Japan, faces of foreigners are seen more and more in markets and public facilities. Now as we enter the 21st century, KIFA's role will become more international still. We all must make an even stronger effort to realize true and meaningful international exchange. By working together actively pursuing internationl exchange and meeting fresh challenges, we can contribute to world peace. We need strong support from everyone to meet the challenges before us.

鎌ケ谷市国際交流協会の設立10周年によせて

鎌ケ谷市議会議長 石 井 一 美

鎌ケ谷市国際交流協会が設立10周年を迎えられ、記念式典が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

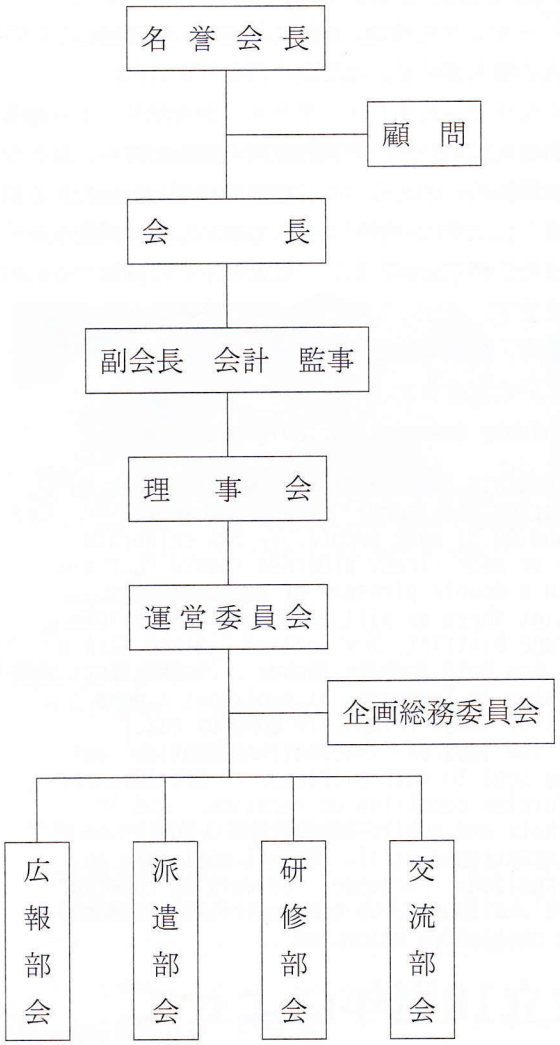
貴協会は、市内に居住する外国人や海外での生活を経験された市民が増加し、市民レベルの交流が広がりをみせる中で、市民が主体となって国際交流活動を進めることの意義を強く認識された発起人の皆様のご尽力により、1988年に発足されました。

以来、海外への派遣事業やホームステイ・ホームビジットの受け入れ、語学講座の開催、通訳ボランティア活動などの諸事業を展開し、相互理解と友好親善に貢献されておられます。

特に本年は、ニュージーランド・ワカタネとの姉妹都市提携が決まり、11月16日に正式調印がなされる運びとなりました。貴協会の設立10周年の節目が、鎌ケ谷市にとって記念すべき年と重なりましたことを、皆さまとともに、大きな喜びとするところです。我が国とニュージーランドは、赤道を挟んで9,000キロメートルの距離があり、歴史や風土などさまざまな違いがありますが、両市の市民が交流を重ね、お互いの文化にふれるなかで、より一層、理解を深め合うことは、国際化の進展や世界平和に寄与するものと確信し、皆さまのますますのご活躍を期待してごあいさつといたします。

鎌ケ谷市国際交流協会とは——

Kamagaya International Friendship Association の頭文字を取ってＫＩＦＡ—キファと呼ばれています。国際交流の推進をめざして1988年４月に設立され、今年10周年を迎えた市民主体の国際交流団体です。



企画総務委員会とは——

企画総務委員長、会計、４部会の部会長が参加して月１回開かれます。ここでは、各部会の連絡調整や、各部会員および会員相互の交流についての話し合いが行われます。又、協会の運営や財源をはじめ、総会、理事会、運営委員会の開催に関することも、討議されます。

部会活動とは——

部会は、現在４部会あり、それぞれ部会長（理事から選出）と、部会への参加を希望した有志の会員によって構成されています。部会の仕事は、担当分野の事業を企画・立案し、理事会や総会を経て、実施にあたることです。つまり、協会の事業は部会により推進されることになりますので、部会には、会員全体、さらには広く市民をも対象とした事業の展開が求められます。また、こうした部会の活動は、ボランティアを基本とした、部会員の主体的かつ積極的な参加によって支えられています。それだけに部会員の役割は重要であり、その活躍が期待されています。

「私達がご案内します」
（三沢・川島）

ＫＩＦＡ事務局（市役所３階）
TEL 45—1141　内線 550

広報部会 *The Public Relations Section*

部会紹介

現在の広報部会員は７名。年３回、協会機関誌であるＫＩＦＡ　Ｐｌａｚａを発行しています。1994年に前部会長の都合により、多少原稿書きや新聞作りの経験があるというだけで急に引き継ぐ事になった現部会長。当時の部会員も新聞作りは初めてという人ばかり。途中、引っ越し等で入れ替わりはあったものの、その頃のメンバーでここまでやって来ました。締切間近、部会員の家で追い込み作業をする事もたびたびですが、「年々良くなっているよ」と言って下さる方々の声をはげみに、頑張ってきました。広報部会のモットーは、「楽しくなければボランティアじゃない」そして別名「自画自賛の会」。部会員一人一人が、出来る範囲で参加してくれればいい。忙しい中、参加してくれるだけで有り難い…。こうして出来上がった新聞を囲み、お互い誉め合い楽しい会を作り上げて来た事が、我が広報部会の継続の秘訣でしょうか。

部会長　岡野　喜久江

歴代部会長

We have at present 7 members in the Public Relations Section. The main duties of our section are to publish KIFA Plaza Bulletin, 3 times a year. Since the members were all amateur and were inexperienced in publishing a bulletin, we had a great deal of hardship at the beginning. Now we have made good progress, and we are sometimes given compliments on the improvement of the KIFA Bulletin. Our motto is "Voluntary work must be enjoyable work." Thus, we encourage each other in what we do, and in what we have done regarding the publication of our bulletin. This encouragement may be the key to the continuation of our volunteer activities.

Kikue Okano

◇◇◇ 10年のあゆみ ◇◇◇

広報部会の活動は機関紙作りです。これまでに発行してきた30号までのキファプラザがそのまま活動記録となっています。ここでは過去の編集後記を紹介しながら、当時の部会員達がどんな状況でどんな事を考えながら活動してきたかを追うことで、10年を振り返ってみました。

創刊号「部会長のあいさつ」より

待ちに待った創刊号がついに発行できました。原稿を快く引き受けてくださった皆様や、ご多忙にもかかわらず、協力してくださった広報部会員の方々、それから事務局の方々のお陰です。

残念ながら、広報部会はほかの部会に比べて部員が少なく、会報を出すに当たっては随分苦労いたしました。どうか皆様のご協力をお願いしたいと思います。

ボランティアとして、ぜひ会報づくりにご参加ください。無から有を生み出す苦しみはありますが、その分出来上がったときの喜びは格別です。

カメラの好きな方、イラストや漫画の得意な方、特に歓迎いたします。お待ちしています。

広報部会長　加藤　記久枝

☆ＫＩＦＡ広報部会長として１年、オロオロしながらも楽しく務めさせていただきましたが、残念ながら千葉市へ引っ越すことになりました。ＫＩＦＡのおかげでできた友人は一生の宝としていきたいと思います。

Plaza ２号の発行が部会長として最後の仕事となりましたが、楽しい紙面にすべく一生懸命やりました。

ものを作る時には苦労がつきものですが、そのぶん喜びもあるものだと実感しました。　広報部会員が増え、紙面が更に充実して、皆様に親しまれるＫＩＦＡ　Plazaになるように。（加藤記久枝）

（第２号1989．３．15．発行より）

☆国際感覚を豊かにしたいと考えついた第３号〝International で行こう〟はお陰で大好評でした。広報部ではこれをシリーズにして連載します。①今、若人の国際感覚は（第３号既報）、②今、鎌ケ谷で外国の人は（本号）。次号以降もご期待下さい。

（第４号1989．11．１発行より）

☆ついに戦争が始まってしまいました。本号の表紙はパーティーに参加した人を結んでＫＩＦＡの平和への願いを表してみました。早く戦争が終わってほしいな。

☆国際感覚とはなんぞや？――平凡な疑問から出発した特別企画〝International で行こう〟も回を重ねること６回、本号で一応幕を閉じる。ご協力をいただいた多くの方に感謝。それにしても月日のたつのは早いもの。

（原稿提出時点）

（第９号1991．３．15．発行より）

☆今回のＫＩＦＡ　Plazaの作成は、ワールドフェア＆バザールに広報部員として写真を撮りに行くことから始まりました。写真の出来は、あまり良いとは言えませんでしたが、私としてはこの時点から参加できたことを嬉しく思います。まだまだ未熟者ですが、みなさんの仕事を見習って、もっと勉強していきたいです。だんだん広報がおもしろくなってきた今日この頃です。（M．Y）

（第12号1991．12．6．発行より）

☆今年のＫＩＦＡ　Plazaのテーマは「外国人にも親しんでもらえる紙面作り」。少しづつですが、英訳を加えていくことで、日本語の読めない外国の方にもパラパラと見て頂けたらと思っています。（K．O）

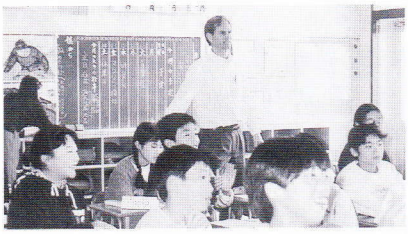
（第14号1992．6．29．発行より）

☆語学研修講座でおなじみの、スティーヴ・バーク先生が、ＫＩＦＡ会報誌作成のお手伝いをして下さる事になりました。ネイティブスピーカーのバーク先生が加わって下されば百人力。後は、あなたのアイデアと意気込み次第。新しい部会員大歓迎。（K．O）

（第15号1992．10．16．発行より）

☆今回は市内の小学校にご協力いただき、授業風景を取材し、写真を撮り、校長先生にインタビュー。にわか新聞記者は大奮闘。協力してくれた子供達の写真や作文を少しでも多く載せてあげたい気持ちと、限られたスペースとの間で、悩みながらの紙面作りでした。北部小のみなさん、ありがとう。（Y．S）

（第16号1992．12．21．発行より）



☆戦力不足に悩んでいた広報部も新部会員の入部が相次ぎ、活気付いてきました。これまで、十分出来なかった各部会活動の取材にも積極的に出かけて行きたいと考えています。「紙面を埋める為の記事を捜す」のではなく、「記事を選んで載せていこう」の結果４ページに。（K．O）

（第18号1993．7．20．発行より）

※この後、４ページでは紙面が不十分ということになり、18号１回限りで８ページにもどすことに。

☆４月11日より５月23日までの間、ワカタネの学生２人がホームステイで鎌ケ谷市に滞在。学校生活を体験する彼女達を三中に取材。

☆昨年１年間、御多忙でいらした前部会長の代理をさせて頂きました。不出来な点も多かったはずですが、暖かく見守って下さりありがとうございました。

中心になって活動してみて、やっとＫＩＦＡの全容が理解できるようになりました。各部会のいろいろな活動部会員の努力や苦労など、なかなか普通の会員の方々の目には止まらない事も沢山あります。紙面を通して、皆様がより深くＫＩＦＡを理解するお手伝いが出来たらと願っています。

どこでも敬遠されがちな広報ですが、我が広報部会は皆で誉め合い、楽しく紙面作りをしています。貴重な時間をさいて部会活動に参加して下さっている部会員への感謝の気持ちを忘れず、本年度も頑張っていきたいと思います。宜しくお願い致します。（新部会長）

（第21号1994．7．15．発行より）

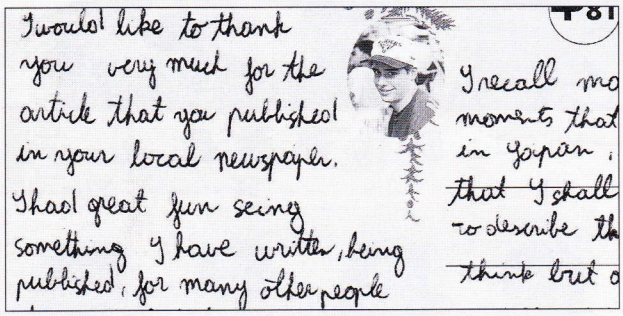
22号より投稿欄を新設。21号の原稿募集に対し早速２人の男性から貴重な体験記がよせられました。

KIFA Plaza
Readers Column
キファ プラザ投稿欄
国際ボランティアの先駆者として
富岡二丁目　古川　秋夫
挨拶してみよう―その国の言葉で
西道野辺13　影山　正光(63)

☆刷り上がった紙面に印刷ミスはないかとか、写真と記事のバランスは良いかとか不安と共に反省したり、自画自賛したりと繰り返しながら毎号作っております。姉妹都市提携候補地の決定に伴い、国際交流の動きも活発になると同時に部員一同ニュース集め、東奔西走しております。今号も大勢の方々のご協力を得る事ができましたが、限られた紙面で全てをお伝えできないのが残念です。取材に応じて下さった皆様に心から感謝申しあげます。（R．I）

（第22号1994．10．28．発行より）

24号より新シリーズ〝My Hometown〟が始まり、これまでにカナダ、イラン、ドイツ、イギリス等８ケ国のふるさと紹介を掲載。25号で紹介したルクセンブルグのマック　キーファー君より礼状が届きました。「自分の書いた文が新聞に、それも日本語に訳されたものまで載ったなんて感激。友人みんなに見せました。」と。

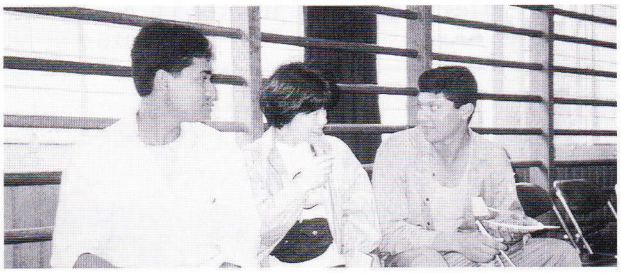

I would like to thank you very much for the article that you published in your local newspaper. I had great fun seing something I have written, being published, for many other people

I recall mo moments that in Japan, that I shall to describe th think but

☆広報部会に入って、今回はじめて取材を経験しましたが、とても緊張してしまいました。笑顔でインタビューしたつもりでも、後から写真を見ると、顔がひきつっていたりどこかぎこちなかったり…。それに比べ、取材先の方々のごく自然な笑顔やあたたかい対応に、学ぶべき点がたくさんあったように思います。今まで何げなく読んでいた記事も、作る側の立場になってみると、書く人の苦労が見えてくるような気がします。

これからは、肩の力を抜いて自然体で取材できるよう心がけて、広報部会のメンバーの方々と楽しい紙面作りを続けていきたいと思います。　（T．K）

（第24号1995．７．19．発行より）



Since last October I had the pleasure to join the group of KIFA kohobukai.
Despite my poor Japanese knowledge, my incorporation was no problem. All the staff is very kind and helpful and in exchanging our know-how both side are benefiting.
Thank you for your kind admission.
Mireille AKIMOTO (coming from Luxembourg)

10月から広報のお手伝いをする事となりました。日本の知識もほとんどない私ですが、スタッフの皆さんの手助けと協力を得まして、よりよい〝ＫＩＦＡ　Plaza〟にしたいとおもいます。広報部に入れていただき有難うございます。　ミレーユ　秋元（ルクセンブルグ出身）

（第26号1996．３．12．発行より）

〝国際交流ミニコミ紙誌フォーラム〟

港区国際交流協会、港ユネスコ協会、いっくら国際文化交流会共催、「国際交流ミニコミ紙誌フォーラム」が、６月６～７日、港区立赤坂区民センターで行われました。北海道から九州までの約70団体、120名が参加。

ＫＩＦＡ　Ｐｌａｚａ　25、26号も展示会に参加、出展されました。　（第27号掲載記事）

☆ミレーユさんが入って下さり、語学の苦手な私も、耳だけはダンボにして頑張っております。広報部会員は、現在６名と少人数で活躍中、それだけに自分の作った紙面が出来上がると自画自賛しております。　（K．Y）

☆１年間一緒に仕事をしてきたミレーユさんが、転居の為、広報部会をやめることになりました。少人数ながら和気あいあいとみんなで頑張ってきたので、寂しい限りです。部会員も５名となってしまいました。どなたか広報部会へ来ていただけたら有り難いです。　（T．K）

（第28号1996．11．１．発行より）

その後２人の新部会員に恵まれ、現在７名で活動中です。今回は記念事業の準備と本号の発行で、ここ１カ月は多忙を極めました。今回ばかりは、当部会のモットーは、おあづけ。人手が足りない中での記念号の発行ですから、部会員一人一人にかなり重荷をおってもらうことになりました。しかし、ＫＩＦＡ10周年や姉妹都市提携の記念すべき年に、このような形で係わる事ができたことはとても良い経験になりました。それぞれお忙しい中御協力頂いた各部会長、部会員の方々や事務局の方に感謝致します。

派遣部会 *The Dispatch Section*

部会紹介

派遣部会という名のとおり、96年度までは派遣事業を行って参りましたが、10年という節目の年を迎え、本年は派遣をせず、今後のありかたについて考える年とし、今日まで交流を深めてきたワカタネと鎌ケ谷市民の相互理解を深めるための事業を計画し実施しております。

主事業としては、青少年の絵画交流、ニュージーランド＆ワカタネ理解講座、市民夏まつりの場でのＰＲ。実施にあたっては分かりやすく、楽しく、気軽に、文化の違い、良さを理解できるような工夫をしております。

また、地域の公共施設を利用し写真展、絵画展を開きワカタネの自然、人々の生活の様子をお知らせし、交流の輪を広げていきたいと思っております。

このような取組みをしながら、一方、広く目を世界に向け、他国他都市との交流の道を探っております。

以上、鎌ケ谷市の海外交流の窓口としての自負を持って部員一同頑張っております。

部会長　佐藤　キク

歴代部会長

'88〜 荒井　茂行　'92〜 石川　優子　'94〜 佐久間真由美　'97〜 佐藤　キク

The main activity of the Dispatch Section of KIFA has been 'the dispatch project' by which we have sent young people to foreign countries every year. On the occasion of the tenth anniversary of KIFA, we temporarily pause the dispatch project and are now thinking over the significance of the activities in the past as well as considering the prospects for our activities in the future. Because of the sister-city affiliation with Whakatane, we are planning to start a project by which mutual understanding between Whakatane and Kamagaya citizen will be encouraged. The project consists of several activities, such as the exchange of pictures painted by young people, public lectures on New Zealand and Whakatane, and the advertisement of sister-city affiliation with Whakatane. Every activity is intended to be enjoyable, easy to attend, in particular, easy to understand the cultural difference between New Zealand and Japan. We would like to encourage the cultural and human exchange between Whakatane and Kamagaya. Based on the project regarding the sister-city affiliation with Whakatane, we hope to extend our activities to other countries and cities to broaden our outlook.

Kiku Sato

派遣事業10年の歩み
多様な異文化とのふれあい

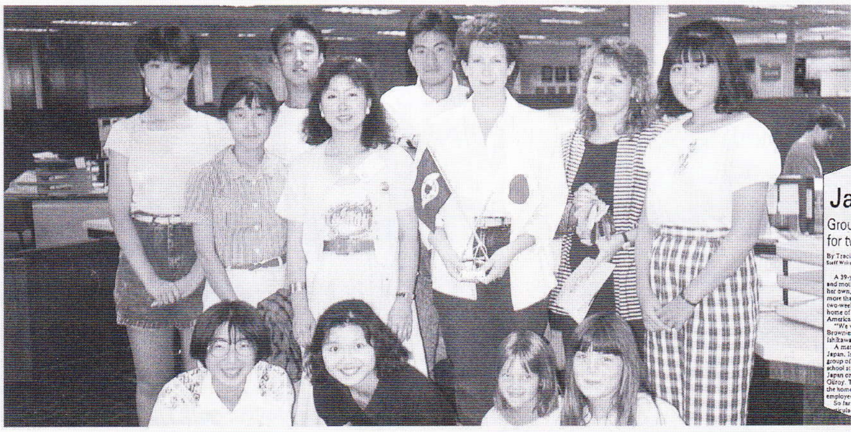
☆第１回　1988年８月６日〜８月31日

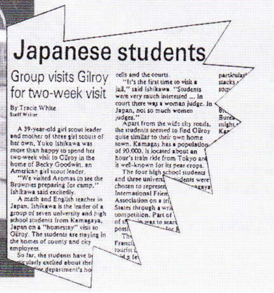
第１回青少年海外派遣事業は、市教育委員会との共催により、青少年５名、青少年指導者２名をヨーロッパ、アメリカ、カナダ等へ派遣しました。また市内の小中学校教職員の中国派遣研修も助成しました。

☆第２回　1989年７月30日〜８月16日

アメリカ　カリフォルニア州　ギルロイへ
高校生、大学生、リーダー、計８名

それぞれのホームステイ先は、共稼ぎという家庭が殆どでしたが、忙しい生活をしているのに、みんな、気持ち良く暖かく私達を迎え入れてくれました。（Y．I）





Japanese students

Group visits Gilroy for two-week visit

By Tracie White
Staff Writer

A 39-year-old girl scout leader and mother of three girl scouts of her own, Yuko Ishikawa was more than happy to spend her two-week visit to Gilroy in the home of Becky Goodwin, an American girl scout leader.

"We visited Aromas to see the Brownies preparing for camp," Ishikawa said excitedly.

A math and English teacher in Japan, Ishikawa is the leader of a group of seven university and high school students from Kamagaya, Japan on a "homestay" visit to Gilroy. The students are staying in the homes of county and city employees.

So far, the students have b... ...ticularly excited about the... ...department's ho...

cells and the courts.

"It's the first time to visit a jail," said Ishikawa. "Students were very much interested ... In court there was a woman judge. In Japan, not so much women judges."

Apart from the wide city roads, the students seemed to find Gilroy quite similar to their own home town. Kamagaya has a population of 90,000, is located about an hour's train ride from Tokyo and is well-known for its pear crops.

The four high school students and three university students were chosen to represent ... International Frien... Association on a tri... States through a wri... competition. Part of ...

☆第３回　1990年７月25日～８月11日
アメリカ　カリフォルニア州　レイクポートへ
高校生、大学生、リーダー、計８名

リーダーの私は、64歳という年齢のギャップを感じることもなく楽しく過ごす事が出来ました。

派遣者の中には自分自身の置かれている立場、世界の中の日本人のあるべき姿について、実にしっかりした意見を持っている頼もしい若者達がいました。（H．S）

☆第４回　1991年７月26日～８月12日
オーストラリア　シドニーへ
高校生、大学生、リーダー、計８名
「シドニーの明治村（オールドシドニータウン）」の兵士と

最初の数日間は、限りある英会話力が、もどかしく自己嫌悪に陥ったりしましたが、自分が出来ることを一生懸命にすればいいんだ、と気づいたら、肩の荷がおりたように楽になり、言葉もスムーズに出てきました。（Ｉ．K）

警察署見学　牢屋でカギをかけられてしまいました。

☆第５回　1992年７月29日～８月12日
ニュージーランド　タウランガへ
高校生、大学生、リーダー、鎌ケ谷市職員、計９名

数々の施設訪問で、私達は、ただの見学者ではなくTea timeを共にすごしたり、わずかな時間ながらそこで働いたり、施設を利用している人々と交流することができました。（S．S）

☆第６回　1993年８月４日～８月18日
ニュージーランド　ワカタネへ
高校生、大学生、リーダー、鎌ケ谷市職員、計９名

５日間ファーム・ステイをしたワカタネでは、地元のラジオや新聞が私達の訪問を紹介し、それを聞いたり見たりした私達は感激しました。それは、地元の人たちと心と心の交流ができたからなおさらかも知れません（S.M）

☆第７回　1994年10月４日～10月11日

ニュージーランド　ワカタネへ

ＫＩＦＡ会員　17名。青少年から**成人**派遣へと対象を移し、実行しました。

海底火山の島、ホワイト・アイランドへの上陸は、日本では味わえない冒険の連続で、船酔いと共に忘れられない体験でした。（M．S）

☆第８回　1995年度　1996年３月19日～３月26日

ニュージーランド　ワカタネへ

行政、ＫＩＦＡ会員、鎌ケ谷青年会議所より計19名

ワカタネで開催される全ニュージーランド姉妹都市大会で、日本文化の一端を披露してほしいというワカタネからの要請を受けました。

マオリ特有の織物を敷き、「マオラン」で編んだ軸を掛け、茶花を生けて、「友好茶会」を開きました。

琴の演奏では、「さくら」等の日本の曲に続いて、ニュージーランド国歌を弾き始めると、思いがけず、全員（300人位）が歌い出し、大変感無量でした。（H.O）

☆第９回　1996年度　1997年２月９日～２月15日

ニュージーランド　ワカタネへ

ＫＩＦＡの理事メンバーである各団体の推薦を受けた13名を、今後ワカタネとどのような交流を展開するべきかを探る為に、派遣しました。

☆第10回　1997年度

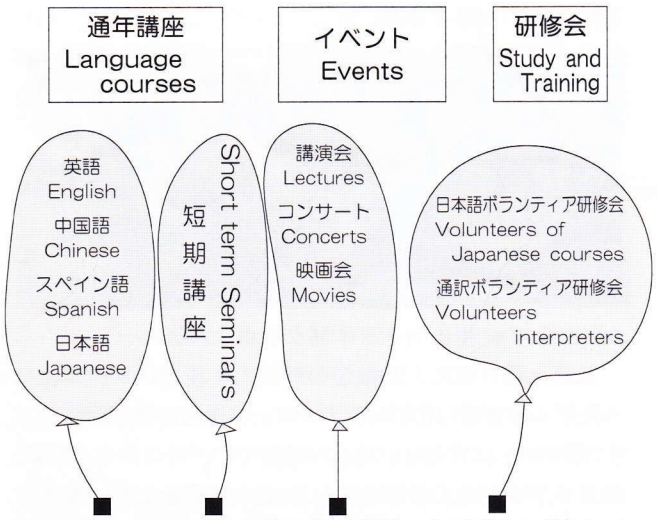
夏まつり
ニュージーランドクイズで市民にＰＲ

ニュージーランド＆ワカタネ理解講座が、９月20日(土)午後２時より三橋記念会館にて催され、200余人もの参加者が映画・講演・クイズ・中学生によるダンス・歌などを遊学しました。

研修部会 The Education and Training Section

部会紹介

《兎に角よく働く研修部会》



年間多大なる活動回数ですが非常に好意的にご協力下さる公民館・コミセンの皆様には本当に感謝感謝です。

当初は英語・中国語の２カ国語であった語学講座に、1992年からスペイン語と日本語が加わった。現在日本語は、多くのボランティアによって指導が行われている。

毎度毎度生みの苦しみのイベントも参加された皆様にお誉めの言葉を戴くと、また一年、頭を悩ます事に張りを感じてしまう部会の辛い習性も罪なものである。

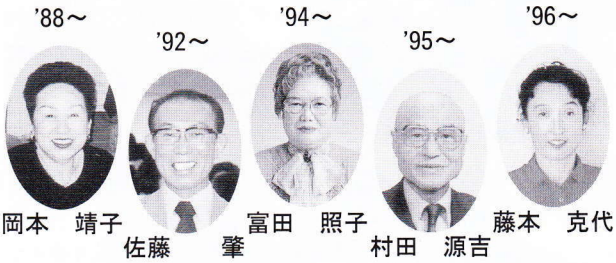
今迄のところ需要の面で物足りなさを感じる通訳ボランティアだが10カ国語以上もの通訳可能で優秀なボランティアが揃っており、市民の皆様にもっと気軽にご活用願いたいと思う。

そして自己研鑽の意味も含めて行う研修会。ここでも参加される方々へＫＩＦＡの啓発を行っている。

月一回の定例部会の他各担当者会議の時には、口角泡を飛ばし、髪を逆立てて（オット逆立てる物が無い人も…）議論したかと思うと嬉々として食べに行く相談をしていると言う様に硬軟織り交ぜ活動に当たっている研修部会なのである。

部会長　藤本　克代

歴代部会長



The aim of the Education Section is mainly to provide an opportunity for Japanese residents to learn foreign languages and foreign residents to learn Japanese. We used to have only two courses of English and Chinese at the beginning, however two courses of Spanish and Japanese were added in 1992. Japanese courses are supported by many voluntary workers. We are also organizing several events, such as giving lectures, concerts, and movies. Although we went through birth pangs to produce an idea for an event every time, we are encouraged by words of praise given from the audience. Therefore, our custom of doing painstaking work for producing ideas of events is now second nature. We are also doing an activity of "volunteer interpreter" which is intended to help foreign residents in Kamagaya when they have difficulties. For example, at the hospital or in the city offices. However, the activity has been so far not so effective since it is not widely known. We expect there must be more demand if our activity is well-known. Another activity is the training of interpreter and Japanese teachers for own member's improvement. In the opportunity of the training course, we also introduce the significance of KIFA for participants. The regular meeting of the training section held once a month is a mixture of brainstorming and noisy talk on various topics. Katsuyo Fujimoto

《語　学　講　座》

毎年好評で応募者が多い。外国語に親しみ外国人と交流する人の輪をひろげることに貢献したいと願っている

［英語講座］

＊初年度は中学生以上の講座があった。
＊'89より'90迄は、９月開講20回の講座であった。
＊'91より春開講30回が主流となった。
＊レベルは、年度により初級、中級、上級を適宜開講。

［中国語講座］

＊当初は、初級と中級があったが現在は初級のみ。

［スペイン語講座］

＊バルセロナオリンピックの年から始まった。

［日本語講座］
＊'90中央公民館事業に講師派遣７回の授業を行う。
＊'92専門講師により10回。
＊'93専門講師にボランティアが加わり30回になる。
＊'94より全面ボランティアで指導。'95より40回に。
［短期講座］
＊'92英語フリートーキング10回
＊'92スペイン語10回
＊日本語ボランティア講師養成講座（'94 '97）
＊大朋友（フレンドリー）中国語教室…10周年記念事業
［１日語学体験講座］
＊講師人の提案により'96から
［合同開講式・合同閉講式］…年度により内容検討
☆1991．１．楽しい上級クラスより

今年度は英語会話講座に上級クラス開設。講師のスティーヴ・バーク先生を相手に「Do you smoke?」などの英会話でゲームを楽しむひととき。

☆1990．３．11．語学研修講座合同閉講式より
当日は各講座代表が流ちょうな英語、中国語で謝辞を述べ研修の成果を披露。

柏手をする終了生の皆さん

☆1995．７．生き生き日本語クラスより
毎週火曜日夜に、20数名の外国人生徒達がレベルに合ったグループで、16人のボランティア講師に教わっています。華やかとは言えない地道な活動ですが時には七夕祭り、鎌倉見学など他の体験もし、知識の補給をしています。

七夕まつりより

〈指導された講師陣〉

英語　English
☆ジョン・ウィリアム　☆ジャネット　平野　☆木村　エリザベス
☆大友　スーザン　☆スティーヴ・バーク　☆エモリー・クレスタ
☆興津　圭子　☆佐藤　肇　☆坂田　佳枝
☆ロバート・メイスン　☆ゲィール　小川

中国語　Chinese
☆船山　定五郎(故人)
☆李　耀　☆金子　夏美
☆楊　潔　☆王　麗潔
☆馬　杏元

スペイン語　Spanish
☆アコスタゆかり

日本語　Japanese
☆坂田　佳枝　☆品川　雅子
☆ボランティア講師

《イ　ベ　ン　ト》

会員や市民に役立ち歓迎される良質なパフォーマンスをと心掛けて部会員夫々が情報集めに苦労しています。

［講演会］
＊'89バーバラ寺岡　『日本の国際化と食文化』　他の講演会の折りＫＩＦＡでの対応の良さを話されていた。
＊'90グレゴリー・クラーク　『ユニークな日本人』
＊'90秋山　秀一　『世界を旅して』
＊'90岡本　靖子　『私の米国生活』
＊'92ペマ・ギャルポ　『私のチベット』
＊'93スーザン中道　『私の語学』
＊'94フランソワーズモロシャン　『フランスを愛し日本を愛して』
＊'94カーリー西條　『日本の生活と教育論』
＊'95梅崎　早苗　『ユニセフ親善大使とともに』
＊'97中田　武仁　『今　何故ボランティアか』
☆1990．４．21より
グレゴリー・クラーク氏の体験談まじえたユーモアたっぷりの講演会に約120名の参加者は、しばし和やかな雰囲気に包まれていました。

グレゴリー・クラーク氏

バーバラ寺岡さん

☆1989．９．９バーバラ寺岡さん講演会より
当日は立見がでるほどの盛況ぶりで、バーバラさんの合理的な考え方や、独自のダイエット法を話される話術に、知らず知らず引き込まれた楽しい一時。
☆1994．２．19 国際化について考えました
「Together 生まれ育ちはちがっても、今この町　地域の国際化ってなに？」と題して地域振興課、公民館、国際交流協会の三者共催で行われた。基調講演は、フランソワーズ・モレシャンさん。続いてカーリー西條さんを特別ゲストに迎え、市内在住外国人との座談会。司会はＴＢＳアナウンサーの桝井論平さん。450名もの市民が参加。
「国際化に関するアンケート」にも答えて下さいました。

カーリー西條さん

フランソワーズ・モレシャンさん

☆1997．8．23　夏まつりより

国連ボランティアとして任務遂行中、93年４月カンボジアにおいて殉職された故　中田厚仁氏。　父　中田武仁氏は、息子の意志を活かすべく32年の貿易商社マン生活に終止符を打ち、自らも国際平和の為のボランティアとして活動をしておられます。

中田氏の講演はその内容の重さとは逆に、穏やかな表情と口調に却って引き込まれ、大多数の参加者の涙を誘いました。公益信託「中田厚仁記念基金」は、現在のところ　35,869円を送金しています。ご協力ありがとうございます。

［コンサート］

＊'91学生カルテットによる合奏

＊'92華道吟…華道と詩吟の共演

＊'95歌物語
『スーホの白い馬』
オトーヴァル

＊'93琴によるポピュラー合奏

［映画会］
＊'96ガイアシンフォニー

《研　修　会》

一般参加可能の研修会

［通訳ボランティア］

＊ノリーン・ヤマヨシ英語ブラッシュアップ

＊市民国際理解講座

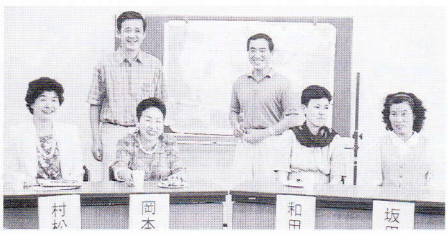
'95　6．18．「第１回」〝暮らして泣いて笑って　アメリカ文化〟

'95　9．　2．「第２回」〝日本はアジアの一部？　東南アジアから見た日本〟

'95　11．12．「第３回」〝近隣諸国から見た日本〟

'96　2．　4．「第４回」〝地球の反対側、ラテンの国々から見た日本〟

☆1995．6．18「第1回市民国際理解講座」より　岡本靖子氏、村松淑子氏、和田照子氏、坂田佳枝氏のパネラーにより、それぞれの経験談がユーモアを交えて楽しく行われました。



＊ギブソン松井佳子の翻訳の仕方

＊英語で話す会

＊コンピューターから学ぶ英語　など

☆1997．7　英語で話す会より

募集人員を上回る申し込み。日本人同士でも英語で話す事がはずかしくなくなり会話もはずんでいました。

［日本語ボランティア］

＊品川　雅子　『教えにくいところを征服』

＊岡田　幸雄　『外国人に教えるということ』

＊広田　万里子　『発声法とアクセント』

＊松本　明子　『初心者指導の問題点と教室運営』

など

交流部会 *The Exchange Section*

部会紹介

交流部会の目的は、創意ある交流事業を通じ、外国人との交流を深め相互理解を図ることです。皆が親しみを持ち、楽しみながら気軽に交流できるよう配慮しています。近年、年６回位さまざまな事業を企画運営しています。今年は、５月に鎌倉バスツアーを初めて実施し、大好評を得ました。KIFA　PARTYは、年々参加者も増え、福祉センターホールでは、手狭になり、新たな問題となっている程です。ホームステイ、ホームビジット事業は、ワカタネとの交流を契機に、今後市民の方々のご協力を得て、益々発展させていきます。現在、部員は、40名（男17名、女23名）です。念願の外国人部員も５名となりました。部会議は、毎月第一日曜日、10～12時に開かれ、通常25名位は出席、活発に活動計画など話し合っています。部員は和気あいあいと楽しく活動しています。人と人、心と心のふれあいのある交流の輪を、外国人の方々と共に、拡げていきたいと、皆、頑張っています。

部会長　石関　澄子

歴代部会長

88～

藤谷　淳子（故人）

92～

竹内　　明

95～

石関　澄子

The purpose of the Exchange Section of KIFA is to establish mutual understanding between Japanese and foreign residents in Kamagaya based on various attractive activities which are expected to be enjoyed by participants. Several events are planned and organized in a year. A bus tour to Kamakura was planned and realized for the first time in May this year, which was favorably received by participants. The KIFA PARTY is getting more popular year by year, hence the number of participants has outgrown the biggest hall in the Fukushi Center building (the Welfare Office building). By taking the opportunity of the sister-city affiliation with Whakatane, we would like to start a new project, thus the exchange of home visits between private citizens in Whakatane and Kamagaya, to promote human and cultural exchange. We have about 40 members in our section in which 5 non-Japanese members also take part. The meeting is held in the morning after 10 am on the first Sunday every month at Manabii Plaza. In the meeting, the planning of our activities is discussed in a very active but friendly atmosphere. We are expecting to expand a circle of acquaintances in Kamagaya.　　Sumiko Ishizeki

◇◇◇ 写真でつづる10年のあゆみ ◇◇◇

1988年度

☆12月、鎌ケ谷市役所Ｂ１ＦにてＫＩＦＡ初めての交流パーティー。約120名（外国人38名）が親睦を図る。

1989年度

☆６月、ＫＩＦＡによる初めてのホームステイが実現。米国オレゴン・フロリダ州より高校生16名を受入れ。

☆７月、デンマーク少女合唱団のコンサート（市役所）

1990年度

☆５月、南部公民館で、「世界の文化交流」No.４（スコットランドの家庭料理）を開催。

1991年度

☆12月、明治大学の留学生（中国１名・台湾２名・韓国１名）を招き、１泊のホームステイを行う。

1992年度

☆６月、南部公民館で、プロの料理長をお招きし「世界の文化交流」No.７（本場中国の味をご家庭で）を開催。

☆７月、カナダ高校生のホームステイを受け入れる。

☆11月、第５回「ＫＩＦＡパーティー」前年完成した総合福祉保健センターで開催。174名（外国人13カ国53名）参加。例年よりも家族が多く、和やかに…。

1993年度

☆７月、ホームステイ受入れ。ユートレックセンターより派遣されたカナダの青少年３名が市長を表敬訪問。その後、ホストファミリーを交えて歓迎会を開く。

☆９月、南部公民館で、ペルー人のお客様を招いて「世界の文化交流」No.８（南米ペルーの海鮮料理セーチェ作り）を開催。最後に歌とギター演奏も…。

1994年度

☆４月、ワカタネから２名の学生が、市内の３家庭にホームステイ。中学校の先生や生徒とも交流。

☆４月、交流部会員宅でアットホームな雰囲気のホームパーティー。

☆６月、南部公民館で、オーストラリアの料理講習会。

☆10月、佐倉の国立歴史民俗博物館へ。約50名（外国人27名）で楽しく日本の勉強をする。

1995年度

☆２月、まなびぃプラザで、「世界の文化交流」No.10（日本の伝統文化を体験）を開催。市内在住の外国人など約40名が参加し、日本文化に親しむ。

☆４月、市制記念公園で恒例のお花見パーティーが開かれ、外国人30名を含む70名が、歌・ゲーム・フォークダンス等盛り沢山のメニューで楽しく交流。

☆４月から３ヶ月のホームステイの為にワカタネから来日したテレサさんを囲み、ホストファミリー宅でホームパーティーを開く。〝テレサさん笑顔で民間外交〟

☆７月、市民の森にて、104名（外国人50名含む）の参加でバーベキューパーティー。

☆９月、ワカタネより来日した５名の先生方とそれぞれのホストファミリーとのパーティー。翌日、別れを惜しみつつ帰国される。

☆10月、鎌中体育館にて「第１回スポーツフェスティバル」を開催。

1996年度

☆７月、南部公民館で、「ＫＩＦＡ料理講習会」開催。外国人13名ＫＩＦＡメンバー41名が出席、韓国・中国・ルクセンブルグの３カ国の料理を教わる。

☆11月、総合福祉保健センターで、第９回「ＫＩＦＡパーティー」開催。フルート演奏で優雅に始まり、総勢370名（外国人24カ国90名参加）で賑わう。

1997年度

☆５月、交流部会初の試みとしての鎌倉バスツアー、総勢約50名（外国人21名含む）が参加。日本の歴史の一端を紹介しながらお互いの交流を深めようと企画。

☆８月、貝柄山公園にて毎年恒例の夏まつりに参加。今年は、ゆかたの試着もあり外国の方に好評を博す。

10年間の国際交流を振り返り、そして未来へ

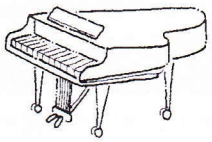
県下では５番目に発足した鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）。設立以来、大勢のボランティア諸氏の熱意に支えられ、引き継がれ、数々の実績を積み重ねてきました。その間、ワカタネとの姉妹都市提携も実りの時を得、今秋正式調印の運びとなりました。大きな区切りの年を迎え、過去を振り返りつつ、今後のＫＩＦＡの使命と方向性をも考えられたらと思い、ＫＩＦＡ全部会員、市民の皆様に広報部会で作成した質問をお送りし、その結果、お寄せ頂いたご感想、ご意見を要約し、掲載致しました。

［１］10年の成果と苦労　草の根交流を目指し、10年間の活動の中で

《ａ．楽しかった事　やりがいを感じた事》

私とＫＩＦＡを結びつけた感動のコンサート

私が初めて、ＫＩＦＡのメンバーとなるきっかけとなったのは、チェコはモラビア地方の女性合唱団、Ｆ・ハーバ合唱団のコンサートを鎌ケ谷市で実現した時（1995．４．13）でした。この話を最初に相談したのは、合唱連盟の中島さんで、市の文化向上にすばらしい企画だと、社会教育課の協力が得られました。コンサートを合唱連盟が、その後の交流パーティをＫＩＦＡが取り仕切ってくれることになりました。ところが公演近くの３月になって、当初20数名のメンバーが、47名になり、予定していた予算では足りません。コンサートを有料にしても、役所の会計ルールで、それをそのまま費用につぎ込めないというのです。しかし、こうした条件の中で関係者の善意と努力で、総合福祉保健センターでの素晴らしいコンサートと市役所の食堂を使った楽しい交流会が実現しました。ＫＩＦＡの交流部に、この話が持ち込まれたのは公演の１ヶ月前程でした。降ってわいた話に戸惑いもあったと思いますが、日頃の国際交流への積極姿勢があったからこそ短期間で準備が出来たのだと思います。あの時の感謝と感動が、今私をＫＩＦＡに結び付けています。（交流部会員）



Ｂｒｏｋｅｎ Ｅｎｇｌｉｓｈでも大丈夫!!

ＫＩＦＡに入会して２年、仕事の合間を縫って参加した会合や、イベントは全て楽しかったです。Broken Englishでも予想以上に会話が進みます。外国の人達と交流出来て、更に自らの語学力が少しでも向上するのを喜んでいる事が、〝やりがい〟に通じればと念じ、参加回数を増やすべく努力します。

役に立った交流精神

東京駅、多くの外国の方々が道に迷ったりしている。目を見、動きを見れば分かる。英語で話しかけて、１つ１つ解決してあげた。１時間で４―６件。数時間、人の流れを見ては、見付けて動いた。ＫＩＦＡの交流精神が役立った。

＊外国の方からＫＩＦＡのお陰でお友達ができたとか結婚相手が見つかったと聞いた時。

＊全く未経験のまま、広報部に入って、ＫＩＦＡ　Ｐｌａｚａの発行に携わるようになり、緊張や反省、後悔もありますが、発行日を迎える時には満足感もあり、次への大きなエネルギーになっています。自分達が作った新聞が活字になって出来上がった時はとても嬉しい。又取材活動も大変な面もあるが楽しい。

（広報部会員）

この他ＫＩＦＡパーティー、夏祭り、料理講習会、バーベキューパーティー、スポーツフェスティバル等、楽しい事としてあがっていました。

《ｂ．苦労した事、困った事》

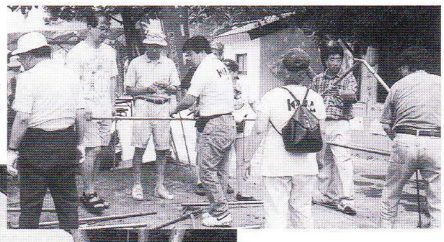
ボランティアの難しさ

＊イベントでの、食品衛生面。少ない予算での知恵のしぼり合い。準備、片付けの人員調整に苦労。（交流部会員）

＊不慣れな他国生活で困っている外国人に親切にしてあげたいが、どこまでがボランティアなのか。個人の限界やＫＩＦＡの役割の難しさを感じた。

仕事部屋の確保

＊編集の仕事での、部屋の確保に苦労します。写真や資料の持ち運びも大変で、あとがつかえていて仕事を中断する事もあります。１部屋あったら、もっと仕事がしやすいと思う。（広報部会員）



夏祭り当日、早朝より会場準備

長い一日が終わりほっと一息

［2］力を入れてゆきたい今後のテーマ

もっと草の根交流を

主人も会員になったが、ＫＩＦＡパーティー位しか参加がなく１年でやめてしまった。もっと一般市民が参加できる様な機会があればと思います。草の根交流ができる機会を多くして下さい。

会員の絶対数の倍増、特に外国人と日本の青少年層の入会促進を。その為の会場等の確保。

外国人講師との交流会を少なくとも年２―３回必要。

ホームステイとは

お互いの文化を認めて国際交流がなされる、ホームステイはその意味で良い機会。ホストファミリーが全員楽しんで受け、御客様扱いせず、無理せずにやり、ホームステイでしか体験できないことを伝えていきたい。

Can you use chopstics well?

帰国子女達のその後

帰国子女に対するサービスがあれば良かったと思う。月に１、２度集まり、ＡＬＴの外国人の先生と友人達と英語だけで過ごす時間が持てたら、英語をキープすることもできるし、お互いの悩みなどを話し合うこともできる。

市内在住外国人の方々のために

大上段に構えるばかりでなく、もっとＫＩＦＡの存在を市民に知ってもらい、不慣れな生活を強いられている外国の人々の為にも、分かり易く伝える情報誌にして行く事が大切だと思う。

市内に生活されている外国の方々にアンケートを。

市内に生活されている外国の方々のみのサークルを。

１月～12月まで、月毎に異なる国の日を決め、国毎の理解を深め合う機会を定期的にしたい。それで巾も広くなる事が期待できる。

道路に英語、中国語の標識を。

人種や国による差別を無くしたい。

ＫＩＦＡ専用の部屋を

ＫＩＦＡ専用の部屋があり、仕事もそこで出来、会員、市民の方々も、自由に出入り出来て、他国、他市の情報を置いてあったり、お茶など飲めるようになっていると良いと思います。又、市役所１Ｆに案内コーナーがあれば外国人にＫＩＦＡの存在を知らせることができると思う。

会員のレベルアップを

国際交流の理解のレベルを上げる為に、ＫＩＦＡ会員のレベルを上げたい。ややもするとイベント屋さんのみに満足する傾向がある。

地道な努力とＰＲ

ＫＩＦＡの事を知ったのは２年前、ワカタネへのホームステイの応募がきっかけでした。ホームステイの為の打ち合わせと、その後の帰国報告でＫＩＦＡを知り、お役に立てればと、部会員になりました。10年経ても核となる人数が、交流部会以外は、あまりにも少ないのに驚きました。今後交流の為の、色々な企画、運営、実行には部会員を増やして、多くの人の考えや意見が反映されるべきと思います。色々な分野で活躍されている方々の意見を出し合えば、大きな発展も望めます。その際には、地位や名誉欲を持たず、ボランティア精神に徹底したいものです。

一人でも多くの市民にＫＩＦＡを知って貰う為にＰＲも欠かせません。例えば、市の広報や公共物を利用し、活動内容を知らせたり、気軽に外国人と話せる機会を増やす。講座、イベントを多くして市民にも広く呼びかけるべきと思います。

又、外国人が望んでいる事、困っている事を知り、解決の糸口になる様な、119番をボランティアで組織することも考えられます。こうした努力が会員を増やし、外国や外国の人々を理解し、理解され、最終的には、世界平和につながっていくと思います。

（派遣部会員）

［3］ワカタネ（Ｎ.Ｚ）との姉妹都市提携から

《ａ．現在１番に希望している交流は何でしょうか》

＊できるだけ多くの人が、互いに訪問し合い理解を深める事。私もそうしたい。

＊若者達が交流の中心になり友好を深めて欲しい。

＊草の根交流より始めて欲しい。例えば、芸術（美術、映画）スポーツ、料理などを定期的に催す。

＊ＫＩＦＡ会員一人一人にワカタネ市民１人を紹介し、ペンパルとしてスタートし、相互理解を深め市民で希望のある人についても紹介する。（学生も含む。その為に、当初、両市役所に各々のオフィスがあっても良い。）

《b．将来はどの様に発展して欲しいですか》

＊「継続は力なり」10周年、20周年、100周年までも地道に頑張りましょう!!

＊大人も子供も文通できるように機関紙を作り、メンバーの紹介もして欲しい。

＊定期的な相互訪問と意見交換会の開催や人材の交流

《c．その他》

＊ワカタネとの経験をもとにして、世界中にも目を向けたい。

＊ワカタネの自然を満喫したい。

＊図書館にワカタネコーナーを充実させ、知識が得られるようにして欲しい。

［4］市民の皆様へアンケート

10年間の活動から、どのくらい市民にとって身近な存在となってきたか、伺ってみました。

a．ＫＩＦＡを知っていますか？

はい……22　いつ頃から　10～５年…３

いいえ…10　５～０年…11　無回答…８

b．ＫＩＦＡ　Ｐｌａｚａを読まれたことは？

ある……16

ない……16　印象に残った記事は？

「お点前の写真記事」「外国の方の書かれた記事」「会員の方の熱心な交流」「ＫＩＦＡパーティー」

c．ＫＩＦＡ主催のパーティー、イベントへの参加は？

ある……８　「楽しかった」「温かい雰囲気」

ない……24　「外国人を知る為には絶好の場所」

d．ＫＩＦＡの語学講座の経験は？

ある……７　「先生方が熱心で上手」

ない……25　「楽しく受講できた」

e．ホストファミリー、ホームステイの経験は？

ある……８　「喜んで頂けるのが嬉しい」

ない……24　「良い経験」「気遣いが多い」

f．身近に外国の方を知っていますか？

ある……８　どんなおつき合いですか？

ない……24　「あいさつ程度」「家族のよう」「主人の会社関係」「友達づき合い」

g．これからのＫＩＦＡに望む事は？

＊市民がＫＩＦＡに対して認識不足なので、もっとＰＲして欲しい。（同じような意見～他７件）

＊気軽に参加できるミーティング等を、公民館、コミュニティセンターを利用して紹介してほしい。

＊いつでも立ち寄れる場所があると良い。

＊日常生活の中で活用できる情報、この地で生活されている外国の方々の感想等紹介して欲しい。

＊外国から来た人達（大人も子供も）の手助けを。

＊外国語があまり出来ない人にも近づきやすく。

h．ワカタネとの姉妹提携に期待する事は？

＊特に子供達の為の文化交流、後には教育、農業、機械技術、環境問題等の為に。

＊身近に感じられないので解らない。

＊鎌ケ谷市とのつながりを知らせて欲しい。

＊遠いこともあるが、ワカタネを選んだいきさつ等解れば、何か思いつくと思う。

部会員、市民の皆様ご協力有り難うございました。
部会員宛　送付枚数　83通、返送回答　14通
市民向けアンケート　100通中、40通回収
担当者　中町、後藤、武井

《編集後記》

広報部会に参加して半年、国際交流、ボランティア、行政と、濃縮して考える貴重な時間となりました。虎穴に入らずんば虎子を得ず。苦あれば楽あり。と暗示にかけられました。　武井　千文

幸運にも？ちょうど夫は２週間の出張中。簡単に夕食を済ませると、受験生である娘達は早々に自室にこもり、私はひとり夜中まで文字と格闘する日々でした。　岡野　喜久江

英語より数学の方がまだ好きな私が、広報部会に参加して早５年。苦手な語学は苦手なままですが、皆さんと楽しく紙面作りを致しております。「もっと勉強しなくっちゃ」と思うばかりです。　山﨑　圭子

ワープロを打ちながら、原稿とにらめっこしていて気がつくと、時計は12時を回っていた事も…。学生時代に戻ったようなここ１カ月でしたが、頭の中は、しっかりと年を感じさせてくれました。　片岡　孝子

エンジンのかかるのが遅い私。最終10日間は昼夜なく慣れないワープロに挑戦したり、割りつけに悩んだりしました。心の広い夫もさすがにちょっぴり苦い顔をしておりました。　石尾　玲子

10年間のまとめの記事、キャリアのない私達、30号全部読んで研究。それからアンケートの質問作りに四苦八苦。集まった物をＦＡＸとＴＥＬを駆使して相談。"協力は力なり"　中町　文代

暑い暑いと言いながら取りかかった今回の新聞作り。休日を返上し、アンケートの集計数が予想外に少なかったのにもがっかりしながらナントカまとめあげた時にはもう秋風。これから私の休日を取り戻そう！　後藤　美樹子

キファ プラザ ミニ アルバム
KIFA Plaza Mini Album

美しいタイの踊り（1991年）

ロイヤルタイ舞踊団と（1991年）

ワカタネ市長　野だてを体験
（1996年９月）

前ワカタネ市長のロレイン・ブリルさん来日
（1995年12月）

市民夏まつりに参加
KAMAGAYA'S SUMMER FESTIVAL

1990年

1995年